次号予告

特　集　片麻痺患者のリハビリテーション目標
片麻痺リハビリテーションの目標設定……中通リハセンター　渡辺　淳
在宅片麻痺の日常生活動作……鹿教湯病院　石神重信・他
片麻痺のADLおよび家事動作の自助具……都心障センター　早川宏子
〈感想〉老人麻痺患者の生きがい……足立福祉センター　小谷節子
〃……都養育院　奥川幸子
〃……長崎療養所　浜村明徳
とびら　第三者の目……伊豆逓信病院　大田仁史
講　座　理学療法概論　6. 理学療法士としての適性…金沢医療短大　奈良　勲
中枢性運動制御の生理学　4. 基底核の生理学
(パーキンソニズムと関連して)……都精神医学研　宇野正威
プログレス　身体障害者のリハビリテーション(6)……国立大阪南病院　博田節夫
看護教育のめざすもの(6)
看護過程を客観視する能力を……千葉大学・看護　薄井坦子
リハビリテーション・インフォメーション　〈宮城県〉……仙台鉄道病院　田中文男・他
〈長崎県〉…県立島原温泉病院　高木輝彦・他
養成校紹介　府中リハビリテーション専門学校……高橋正明・他

編集後記

さわやかな5月，皆さま如何おすごしですか．PT学会，OT学会も間近かに迫り御多忙のことと思います．また今年入学された学生さん達は，やっと学校にも慣れてきたことでしょう．リハビリテーション学院にも「五月病」はあるのでしょうか？一般の大学とちがってカリキュラムは一ぱい，やること一ぱいでそんなひま人のなる病気は流行らないと信じますが……？　学校の先生方御苦労様でございます．よき後輩の育成を期待しております．

さて今月号の特集には成人を中心とした脳性麻痺を取り上げました．教科書によれば脳性麻痺による運動障害は「非進行性」であります．皆んなそれを信じて疑わないわけですが，一つ重要なことに気づきはじめました．30歳半ばごろからどうも運動機能の低下の目立つCP者が目立つことです．健常人とは比較にならない位早いのです．これを「脳性麻痺老化」と題して安藤先生に書いていただきました．この問題はリハビリテーション医学の中では今まで取り上げられることのほとんどなかったものです．CP者のリハビリテーションゴールを立てる上で重要なことですので今後の解明を望みます．

作業能力の開発はCP者にとっての永遠の課題と云えましょう．最近は先の老化のこととからんで，CP者自身から「あんまり作業をすると老化を早めるから，作業などは無理してやらずに，もっと大らかにのびのびと，自分の好きな生きがいを求めるべきだ」という主張が云われるようになりました．ここに掲げられた作業開発に関する3つの論文(大喜多氏，佐藤氏，坂本氏)はそのような立場ではなく，CP者の作業能力と真向から取り組んだものです．リハビリテーション機器の開発も盛んです(加倉井論文)．ともあれPT，OTにとっては幼少CPに目を奪われ勝ちな昨今，その将来像とも云うべき成人についても「忘るるべからず」という意味も含めて成人CP者の特集を取り上げました．

(寺山久美子)

＜編集顧問＞
天児民和　九州労災病院長
五味重春　埼玉県生活福祉部
砂原茂一　国立療養所東京病院名誉院長
津山直一　東京大学教授・整形外科
水野祥太郎　川崎リハビリ学院長
(五十音順，以下同じ)

＜編集委員＞
上田　敏　東大リハビリ部
荻島秀男　リハビリテーションペイン(痛み)クリニックわらび診療所
大喜多潤　兵庫県リハビリセンター
鈴木明子　(北海道庁)
寺山久美子　都心身障害者センター
冨岡詔子　山梨日下部病院
奈良　勲　金沢大学医療技術短大
福屋靖子　筑波大学
松村　秩　都養育院リハビリ部

＜編集同人＞
大橋　博
大丸　幸
金子　翼
鎌倉矩子
紀伊克昌
駒沢治夫
佐藤　章
佐藤　馨
嶋田智明
高橋正明
武富由雄
谷岡　淳
中屋久長
藤沢しげ子
松本妙子
丸谷隆明
矢谷令子
山下隆昭
和才嘉昭
(担当　細田・西塚)

©IGAKU-SHOIN Ltd, 2013

2026/10/01 08:21:04